

7 乳児期の月齢別チェックポイント（抜粋）

月齢	特性	重点項目	身体面	生活面	運動発達	精神発達	情緒社会的発達の発達
新生児	<ol style="list-style-type: none"> 胎外生活への適応 妊娠・分娩の影響強い 状態が急変することがある 適応障害予防 感染予防(姿勢、運動、原始反射) 	<ol style="list-style-type: none"> 適応障害(呼吸・循環・黄疸・体温) 先天異常、外表奇形、紹介先を的確に、親の会のことなども正しく教える 妊娠中と出生児の把握(低出生体重児、早産児、ハイリスク児 熟成度の把握(母体側の状態、児側の状態)) 	<ol style="list-style-type: none"> 機嫌、泣き声、哺乳力、呼吸は一般状態を知る上で重要 嘔吐(肥厚性幽門狭窄の場合、噴水状) 皮膚(チアノーゼ、黄疸) 泉門、縫合が広がっている場合要注意 斜頸(筋に腫瘍ある場合専門医が観察) 股関節脱臼(クリックサイン) 鼠径ヘルニア(専門機関で観察) 停留睾丸(腹腔内の場合すぐに専門医に) 臍部(肉芽腫、ポリープ、湿潤、出血は受診) マスキング検査 	<ol style="list-style-type: none"> 母乳の確立 家庭の養育条件の適不適、ハイリスク児の場合、特に社会的問題 家族の健康状態、正常新生児によくある現象に不安をもつことが多い 			
1〜2か月	<ol style="list-style-type: none"> 胎外生活の確立 栄養法の確立・養育方法の確立のために十分なチェックを必要とする 	<ol style="list-style-type: none"> 体重増加量1日15g以下の場合哺乳量、機嫌や元気さなどを確認 先天異常 神経学的異常(姿勢、運動、原始反射の残存程度等より) 	<ol style="list-style-type: none"> 皮膚(黄疸で便が灰白色の場合、先天性胆道閉鎖症を疑って専門医に紹介、チアノーゼの場合精査) 斜頸 嘔吐(幽門狭窄症など) 鼠径ヘルニア、停留睾丸、陰のう水腫 開排制限 視覚(赤い玉など注視、手を動かすと追視) 聴覚(音に対する反応、泣きやんだり、表情が変わったりする) 	<ol style="list-style-type: none"> 母乳の確立と悩みの把握 母子関係 栄養法をはじめとした養育法の確立 養育の方向付け 乳児の泣き、変化等に特有のサインを見出せるか 行動の一つ一つに不安を持つ場合の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 肘や膝を軽く曲げている。 ● 手足をほぼ左右対称的に動かす ● 手のひらに触れたものを握る(把握反射) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大きな音にびっくりする ● 人の顔をぼんやり見る ● 20cm位離れたボールを顔や眼で少し追う 	<ul style="list-style-type: none"> ● 気分の良い時は1人で微笑する ● 空腹時にはよく吸啜する ● 空腹時には元気に泣く
3〜4か月	<ol style="list-style-type: none"> 発育発達の節目 発達の確認が首すわりによって行われる 	<ol style="list-style-type: none"> 神経学的異常 精神運動機能発達 引き起こして頭が遅れない、4ヶ月で伏臥位にすると胸まであげる 喃語、声を出して笑う 	<ol style="list-style-type: none"> 発育状態 栄養状態 視覚(追視、回転運動が活発になり、角度が広がる) 聴覚(ガラガラ、鈴などに反応しないとき難聴を疑う) 開排制限 股関節脱臼 発見の第2段階、レントゲンを併用 一般の疾患(ヘルニア、血管腫、斜頸などを含む) 	<ol style="list-style-type: none"> 母乳の過不足と人工乳の添加 離乳準備(果汁、スープなど) 予防接種(自治体によってはBCG) 家族の者との関係 母と子の生理的リズム(安定した状態で接しやすいか) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 立て抱きで頭がぐらつかない(首すわり) ● 支えて立たせると両足に少し体重をかける ● 両手を合わせて遊ぶことがある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人の声に振り向く ● 180度追試ができる ● 抱いて歩くと周囲をキョロキョロ見回す 	<ul style="list-style-type: none"> ● 話しかけるとアーウーなど声を出して喜ぶ ● 親と他人の顔を多少区別する ● 気に入らないことに対してそっくり返る

(出典:高野陽・柳川洋・加藤忠明編集「母子保健マニュアル改訂5版」南山堂)

8 幼児期の年齢別チェックポイント（抜粋）

月齢	特性	重点項目	身体面	生活面	運動発達	精神発達	情緒社会性の発達
1歳6か月	1 歩行に関連した運動機能の発達	1 歩行は完成されており、上肢が挙上しているときは異常を疑う	1 発育状態 暴れて、計測困難、不正確になりやすい	1 養護の偏り（過保護な環境、親がいつも子どもをせかす場合）	● 1～1歳6ヶ月 ● ぎこちなく歩く(1人歩き)	● ママ、パパなど意味のある単語をいう	● 子どもの中に交じって1人で機嫌良く遊ぶ
	2 言語に関連した精神機能発達	2 はさみ持ち(親指と人差し指つまめること)の完成、なぐり書き、積み木を重ねることができる	2 視覚の異常、斜視の有無	2 対人関係	● 階段をはつてのぼる	● 大人の簡単な行動をまねる	● 自分でさじを持ちすくって食べようとする
	3 個人差は大きい、言語と歩行はチェックポイントとして適切である	3 有意単語の出現	3 難聴(ことばの発達、リズムに乗らない、呼んでも振り向かない)	3 情緒(かんしゃく、こわがり、分離不安)	● めちゃくちゃ書きをする(なぐり書き)	● 簡単ないいつけを理解してする	● 怒って物をなげることがある
			4 行動(泣き方、夜驚、極端に恐れる)	4 生活習慣自立への足がかり	● 1歳6ヶ月～2歳 ● 音楽に合わせて全身を動かす		
			5 歩行障害の原因として整形外科的チェック(X脚・O脚・内反)	5 1歳6ヶ月児の行動の意味がわからない場合の支援	● 片手を支えられて階段をのぼる		
			6 う歯		● 積木を2～3個重ねる		
3歳	1 幼児期の発達の一つの節目	1 行動の偏り 極端に落ち着かず、注意が集中できなくて困る 指しゃぶり、おもらし、人見知りするなど	1 身長伸びの限界値は2～3歳の間で男7.0cm 女6.8cm	1 なついている人が近くにいれば離れて遊ぶことができる	● 三輪車をふんで動かせる	● ボク、ワタシなどと言う	● 他の子に「～しようか」と誘いかける
	2 身体つきの釣合	2 精神発達 ごっこ遊びができる ナニ、ドコ、ダレを使った質問を盛んにする	2 やせ、肥満の判定、病的なやせとの鑑別	2 母親が子どもと遊びを楽しむ	● ぶらんこに立ってのれる	● 名前を呼ばれると返事をする	● 屋間のおもらしはなくなる
	3 身体の問題より心の問題に関心の比重が増す	3 運動発達 交互に足を出して階段を登れる パジャマを着てボタンをかけられる	3 整形外科的所見	3 子どもが父親になつつか	● 丸を書ける	● 「これは何」「どうして」と盛んにきく	● 友達とケンカをするといいつけにくる
	4 生活習慣の確立が自我の発達を促す		4 脊柱	4 父親の育児・家事参加	5 生活習慣の自立何でも自分でやりたがる		
	5 発達顕著		5 う歯、歯列	5 慢性疾患	6 歯磨きをする(親が仕上げ磨きをする)		

(出典:高野陽・柳川洋・加藤忠明編集「母子保健マニュアル改訂5版」南山堂)